

2024年3月期 決算の概況（連結）について

2024年5月29日

1 2024年3月期の連結業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

（百万円未満切捨て）

（1）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	136,440	7.7	11,066	△7.2	12,040	△3.1	7,645	△5.9
2023年3月期	126,657	10.6	11,929	18.0	12,430	13.7	8,123	18.8

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期	162,061	93,431	55.3
2023年3月期	151,089	83,785	53.3

（注）連結対象会社は20社

2 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	132,000	△3.3	10,000	△9.6	11,000	△8.6	7,000	△8.4

※ 上記の予想は本資料の作成日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

3 当期の事業の概況および次期の見通し

（1）事業の概況

建設業界においては、民間投資が前年並みを維持し、公共投資も国土強靱化等の流れを受けて堅調に推移したことから、引き続き需要は高水準となった一方、資源・エネルギー価格の高騰や2024年4月から適用される時間外労働の上限規制への対応を受けた建設・物流コストの上昇等により、収益面では依然として厳しい環境が続きました。

このような経営環境の下、当社グループでは収益構造改革、人材・現場力改革、DX（デジタルトランスフォーメーション）を活用した経営基盤改革といった重点戦略を引き続き推進するとともに、「ヒト」を重視した経営施策の一環として、人材の積極採用や、物価高騰に対する社員への生活支援として特別一時金の支給を実施しました。

事業別にみると、重仮設事業では、東西の事業会社が保有する経営資源の融合により総合

力を発揮し、多方面にわたる課題の早期解決と競争力強化を図ることを目的として、ヒロセ株式会社と太洋ヒロセ株式会社の経営統合に踏み切りました。また、デジタル技術による業務最適化の取り組みとして「ヒロセ建設DX」を推進しており、特設サイトのオープンや経済産業省からの「DX認定」を重仮設業業界として初めて取得しました。基幹工場の更新にも着手し、茨城県稲敷市に確保した事業用土地において新工場建設が着工しました。

補強土事業では、専門工事会社としての競争力を強化すべく、引き続き主力商品・工法のシェア向上に努める一方、新たな収益源として高耐力マイクロパイル工法や解析受託業務の普及・事業化に注力したほか、人材育成や社員の働き甲斐向上にも取り組みました。

専門工事事業では、施工品質と生産性を高めるための組織的取り組みやデジタル化を進めるとともに、主力工事に次ぐ新たな収益源の開拓や、長期的な観点からの人材確保・育成にも注力しました。また、2023年7月には、改修・解体等の建設工事を手掛ける株式会社ファクトの発行済み全株式を取得し、グループ化しております。

タワークレーン事業では、ビル新築工事以外の需要に対する受注を強化したほか、工事用エレベーターや受託整備といった周辺領域の事業化を推進しました。また、クレーン遠隔操作に関する各種業界団体の分科会に参画するなど、引き続き遠隔操作の実用化に向けた取り組みも継続しております。

(2) 次期の見通し

今後のわが国経済につきましては、海外経済が緩やかに成長していく中で、緩やかな金融環境の継続を背景に回復基調が継続することが期待されますが、他方で、引き続き流動的な国際情勢とその影響を受けた資源・エネルギー価格の推移、金融・為替市場の動向、企業の賃金・価格設定行動など、景気動向を左右する不安定要素は依然として多く、これらの影響について十分注視する必要があります。

建設業界においては、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に基づく予算等により、建設投資は引き続き堅調に推移するものと見込まれますが、収益環境についてみると、建設・運輸業界の慢性的な人手不足や資源・エネルギー価格の高止まり等に加え、人材確保のための賃上げ対応などコスト面での課題は山積しており、価格転嫁の進展次第では、難しい舵取りを求められる局面も想定されます。

このような経営環境の中で、当社は去る2023年11月に創立85周年を迎えることができました。当社グループは、今後も経営資源の選択と集中、デジタル投資や技術開発等を通じて、既存ビジネスを革新させ、工事会社としてのポジションをより強固なものにしていくとともに、社員の働き甲斐を重視する、「ヒト」を起点とした経営にも引き続き注力してまいります。

4 役員の異動

当社は、2024年5月29日開催の当社取締役会において、下記のとおり役員の異動を内定いたしましたのでお知らせいたします。なお、正式には、2024年6月27日開催予定の当社第87

期定時株主総会およびその後に開催される取締役会において決定される予定です。

役職	氏名	担当
代表取締役会長兼社長(就任)	廣瀬 太一	
取締役執行役員	遠藤 晃	法務・総務・人事部門長 兼 財務・経理部門 担当
取締役執行役員(新任)	井口 寧	企画部門担当、ヒロセ(株)取締役
取締役(新任)	三隅 俊郎	成幸利根(株)代表取締役社長
執行役員	松浦 正純	HIROSE VIETNAM CO., LTD. 代表取締役社長、 HIROSE (VIETNAM) HANOI CO., LTD. 代表取 締役社長
執行役員	松岡 靖	財務・経理部門長 兼 経理グループ長
執行役員	志賀 英一	特命事項担当
執行役員	森岡 正成	企画部門長、(株)ファクト代表取締役社長

現代表取締役社長執行役員の村田和隆氏は退任し、顧問に就任予定です。

以 上